

拡張レイアウト設定②

検索タグを自動登録する

概要

Salesforceで送信した文書の締結が完了すると、freeeサイン上の文書ファイルに以下の検索タグを自動で登録します。

【検索タグに登録する項目】（最大5つ）

- ①会社名 : 取引先の会社名
- ②電話番号 : 取引先の電話番号
- ③住所 : 取引先の請求先に登録している住所
- ④署名者メールアドレス : 署名者（受領者）のメールアドレス
- ⑤システム締結日 : 「**締結日」の名前の入力項目に入力した日付
※複数「**締結日」を設置している場合は、一番新しい入力項目の日付で登録します。

テンプレートへの登録、配置は不要ですが「入力項目」または「検索項目」のいずれかに以下の3項目の追加登録が必要です。

入力タイプはすべて「**テキスト**」です。**必ず以下の表示名で登録**してください。

電話番号

署名者メールアドレス

システム締結日

※すでに同じ表示名で登録済の項目は追加登録不要です。

※弊社では①②③を入力項目、④⑤を検索項目での登録を推奨しておりますが、自社の運用に応じて設定してください。

目次

<u>ステップ①</u> : freeサインに入力項目・検索項目を登録する	・ ・ ・ ・	p. 4~7
<u>ステップ②</u> : フローが有効になっているかを確認する	・ ・ ・ ・	p. 8~11

ステップ① : freeサインに入力項目・検索項目を登録する

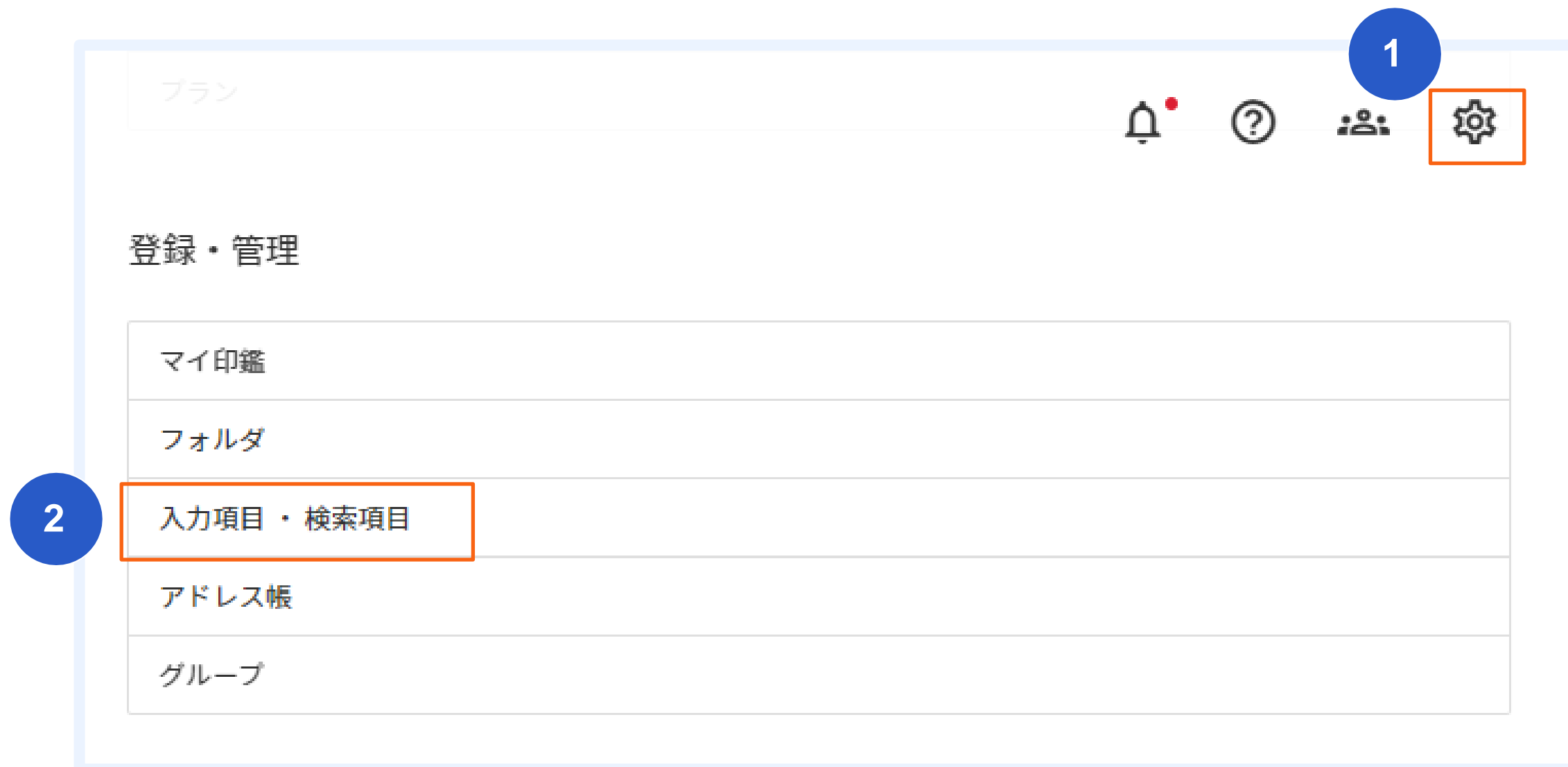
freeサインにログインして実施してください



[- 目次に戻る -](#)

ステップ① : freeサインに必要な入力項目・検索項目を登録する

1. 右上の歯車アイコン「」（設定）をクリックします。
2. 「登録・管理」欄より「入力項目・検索項目」をクリックします。

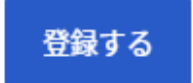


ステップ① : freeサインに必要な入力項目・検索項目を登録する

1. 「登録する」するボタンをクリックします。
2. 「表示名」欄へ必ず「電話番号」と入力します。
3. 「入力タイプ」欄は必ず「テキスト」を選択します。

The screenshot shows the registration process in two stages. The first stage shows the navigation path 'ホーム > 設定 > 入力項目・検索項目' and a '登録する' button highlighted with a blue circle and the number '1'. The second stage shows the '項目を登録する' form with three fields highlighted: '表示名' (display name) with a red box and the number '2', '入力タイプ' (input type) with a red box and the number '3', and '説明' (description). The '表示名' field has a '必須' (required) label, and the '入力タイプ' field has a dropdown menu with 'テキスト' (text) selected and a '必須' label. The '説明' field has an '任意' (optional) label. Below the '説明' field is the '入力例' (input example) field, also with an '任意' label. A note below the '表示名' field states: 'テンプレートに使われている表示名を変更すると、文字が置換されなくなりますのでご注意ください。' (Please be careful as changing the display name used in the template will prevent text replacement.) A note below the '入力タイプ' field states: '文書に使用されるまで入力タイプは変更が可能です。' (The input type can be changed until it is used in the document.)

ステップ① : freeサインに必要な入力項目・検索項目を登録する

1. 用途は自社の運用に応じて「入力項目・検索項目」を選択してください。
※弊社の推奨については概要ページ（P2）をご参照ください。
2. 入力値の暗号化は必ず「無効」を選択します。
3. 「」するボタンをクリックします。
4. P5～P7を繰り返し、表示名を「**署名者メールアドレス**」「**システム締結日**」の項目を登録してください。
3つの項目を登録したらfreeサイン側の設定は完了です。続けてP8（STEP②）へ進めてください。

用途

入力項目 検索項目

初期表示 [?](#)

署名者1(自分) 署名者1以外(相手)

入力値の暗号化

有効 無効

暗号化を有効にすると入力項目が暗号化されセキュリティが強化されます。ただし暗号化された入力項目は検索できませんのでご注意ください。マイナンバー（個人番号）を入力される場合は必ず暗号化を有効にしてください。登録後は変更できません。
[入力項目の暗号化の詳細はこちら](#)




ステップ②：フローが有効になっているかを確認する

システム管理者権限でSalesforceにログインして実施してください



ステップ②：フローが有効になっているかを確認する


1. 右上の歯車アイコン「」（設定）をクリックします。（※新しいタブが開きます）
2. 左側メニュー内のクイック検索欄に「フロー」と入力すると③の結果が表示されます。
3. 「プロセスの自動化」欄の「**フロー**」をクリックします。



The screenshot shows the Free Sign settings interface. At the top right, a gear icon (1) is highlighted in a red box. Below it, the left sidebar menu is visible, with a search bar (2) containing the text 'フロー'. Under the 'プロセスの自動化' (Process Automation) section, the 'フロー' (Flow) option is highlighted in a red box (3). The main content area shows a 'ホーム' (Home) page with several featured cards, including 'デジタルトラストカードを有効化' (Activate Digital Trust Cards), 'Einstein レコメンデーションビルダー' (Einstein Recommendation Builder), and 'Einstein 予測ビルダー' (Einstein Prediction Builder).

ステップ②：フローが有効になっているかを確認する

1. 「フローの表示ラベル」欄の「FS契約_商談から取引先取得」の「有効」欄に「」チェックがついていることを確認したら設定は完了です。

※チェックがついていない場合は、「FS契約_商談から取引先取得」の右端に表示されている「」ボタンをクリックして「詳細を編集」を選択し、次ページの手順を参照して「有効」にしてください。

※有効化している場合、取引先・取引先責任者オブジェクトからFS契約レコードを作成した場合と同様に商談オブジェクトから作成した場合に取引先を自動で取得します。
その他のカスタムオブジェクトからFS契約を作成する場合、FS契約レコードに「取引先」を手動で登録すると検索タグは自動で登録されます。



設定
フロー

フロー定義
すべてのフロー ▼

11 個の項目・並び替え基準: フローの表示ラベル・検索条件: すべてのフロー定義・数秒前 に更新されました

フローの表示ラベル ↑	プロセス種別	有効	テンプレート	パッケージの状態	パッ
FS契約_商談から取引先取得	自動起動フロー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	未管理	

ステップ②：フローを有効にする

1. 「 **キャンセル** 」 ボタンをクリックします。
2. アクション欄の「有効化」をクリックします。 ※無効化と表示されたら有効となります。

※P10を参照し「FS契約_商談から取引先取得」が「有効化」しているかをご確認ください。



設定完了：検索タグを自動登録する



[- トップに戻る -](#)